

令和2年度 第2回八王子市多文化共生推進評議会 議事要点録

開催方法	オンライン会議による開催（オンラインでの出席ができない評議員は書面参加）
開催日	令和3年（2021年）2月5日（金） 午後6時30分～7時30分
出席者	森茂座長、遠藤評議員、岡林評議員、奥野評議員、河西評議員（書面） シュレスタ評議員（書面）、館山評議員、ドミー評議員、花輪評議員、劉評議員（書面）
欠席者	なし
配布資料	評議会次第 資料1 外国人留学生支援事業の見直しについて 資料2 多文化共生推進プランの改訂について 資料3 令和3年度多文化共生推進事業に関する予算案について 資料4 外国人市民に対する情報発信について 資料5 中学校区別ワークショップの実施について

1. 外国人留学生支援事業の見直しについて

・実際には、留学生には経済格差があるのではないかと。収入の確保のため、学業よりアルバイトを優先する留学生がいるとも聞く。奨学金などの支援を拡充する方向の施策も重要ではないかと。（河西評議員）

・留学生リーフレットとごみの出し方の啓発冊子の作成言語は。（シュレスタ評議員）

【事務局の回答】

生活に関するリーフレットはやさしい日本語、ごみの出し方の啓発冊子はやさしい日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語、ネパール語で令和3年4月に発行予定。

・予算の限りもあったのだろうが、留学生の数に対し、奨学金の募集枠30人は少ないと思う。応募も少ないのか。（岡林評議員）

【事務局の回答】

令和2年度の応募が54名。ほかの機関が実施している奨学金制度を利用している学生も多いため、応募が少ないと思われる（本市の奨学金は他奨学金との併用が不可）。

近年は日本語学校の学生も増加してきており、今回、大学生だけでなく、市内の留学生全体を広く支援できる施策に転換した。

- ・奨学金は、応募数が募集人員を超えた場合、どのように受給者を選考したのか。(岡林評議員)

【事務局の回答】

提出された小論文の審査、国籍・日本語能力により選考している。

- ・日本語能力試験受験料補助の対象がN1合格者というのは、難易度が高いのではないか。日本語学校の優秀な人でN2がやっとだと思う。大学と日本語学校でレベルを分けるといったことはあるのか。(ドミー評議員・遠藤評議員)

【事務局の回答】

令和3年度はN1を対象に実施し、申請実績などにより検討していく。

- ・ごみの冊子を配るだけでなく、学校の説明会などで留学生にごみの出し方などを実際に解説できたらいいと思う。(花輪評議員)

【事務局の回答】

必要に応じて、関連部署と連携し、出前授業などにも対応していきたい。

- ・「助っ人留学生制度」は、資料にない活動にも広げていけるといいと思う。(花輪評議員)

【事務局の回答】

資料に列挙しているメニューは例示的なもの。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、活動が限られてしまうと思うが、メニューについては随時検討していく。

2. 多文化共生推進プランの改定について

- ・外国人に対し、イベントや研修などで、日本の生活について知らせていくことが必要だと思う。(花輪評議員)

- ・特定技能の人を対象に、雇用主や支援機関を通じた支援も検討していった方がいいのではないかと。(館山評議員)

【事務局の回答】

今後検討していきたい。

- ・特定技能の資格を持つ人は市内にどれくらいいるのか。(ドミー評議員)

【事務局の回答】

令和2年12月末現在、33人いる。

3. 令和3年度多文化共生推進事業に関する予算について

- ・生活面でのサポートの枠組みが徐々に整ってきたように感じる。今後は、外国人が活躍し、地域を活性化に関わっていくような施策がより必要になっていくのではないかと。(劉評議員)
- ・コロナによって外国籍の子供たちが教育から取り残されてしまっている印象がある。外国籍の子育て家庭への支援が足りていないのではないかと。ちょっとしたことで良いので支援があれば。(奥野評議員)

【事務局の回答】

教育や子育ての分野については、各所管で対応を進めているところ。当課も国際協会などと協力しながら日本語ボランティア団体の支援などを行っている。